

令和4年2月22日14時00分
資料配布 近畿地方整備局・木津川市

木津川市の「まるごとまちごとハザードマップ」がさらにわかりやすくなりました！
～直感的に分かりやすい「まるごとまちごとハザードマップ」完成式典を開催～

- ・木津川市のJR木津駅から市役所前を含む人通りの多い30箇所での表示板の設置が全て完了することから、関係機関が集まり、完成式典を開催します。
- ・淀川河川事務所では、洪水に備え日常生活の中で洪水の恐ろしさを実感していただくために整備してきた「まるごとまちごとハザードマップ」を高度化する以下の2つの試行を木津川市、京都国道事務所と連携して実施しています。
 - ①避難意識を促進する直感的に分かりやすい想定浸水深の表示
 - ②気象情報や避難所開設情報等を入手できる2次元バーコードの表示
- ・この取組は、「あらゆる関係者が協働して水災害対策を行う」という「流域治水」一環として、河川行政のみならず、道路行政や危機管理、教育行政等を担当する様々な関係機関・部署の協働により実施しており、今後も引き続き推進してまいります。

- ◆直感的に分かりやすい「まるごとまちごとハザードマップ」完成式典
 - ◆日時：令和4年2月25日（金）15:00～15:30
 - ◆場所：木津川市役所 4階応接室（挨拶、説明後に木津交差点へ移動）
 - ◆出席者：木津川市長、京都国道事務所長、淀川河川事務所長、地元地域長2名
 - ◆取材：取材は可能です。当日、木津川市役所4階応接室前にて受付を行います。
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら開催いたします。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催を中止する場合があります。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、京都府政記者クラブ、学研都市記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
副所長 善本 隆典（内線206） 調査課長 田中 優太（内線351）
電話 072-843-2861（代表）

国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所
副所長 尾下 嘉春（内線205） 保全対策官 田中 元洋（内線307）
電話 075-351-3300（代表）

木津川市 危機管理課長 高橋 和雄（内線302）
電話 0774-72-0501（代表）

直感的に分かりやすい「まるごとまちごとハザードマップ」完成式典

【開催概要】

・令和4年2月25日(金) 15:00～15:30(30分間)

・開催場所:木津川市役所 4階応接室(挨拶、説明後に木津交差点へ移動)



・出席者:【行政】木津川市長、淀川河川事務所長、京都国道事務所長
【地元】木津町地域長、本町東地域長

・内 容:挨拶、高度化の説明、出席者による表示板貼付、写真撮影

・取 材:取材は可能です。当日、木津川市役所 4階応接室前にて受付を行います。
取材される場合は、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いいたします。

【新型コロナウイルス感染防止対策について】

- 1.発熱、咳などの症状のある方は、参加自粛にご協力ください。
- 2.来場の際には、マスクの着用をお願いします。
- 3.手指消毒剤を設置しますので、手指の消毒、検温にご協力をお願いします。
- 4.参加者は、咳エチケット、手洗い、相互接触(握手等)の回避等に心がけてください。

まるごとまちごとハザードマップの高度化の取組

まるごとまちごとハザードマップの高度化とは

まるごとまちごとハザードマップ（以後、「まるまちHM」と言う）は、地域の浸水リスクの把握や防災意識向上を目的とし、生活空間である“まちなか”に浸水高さを示した表示板を設置する取組です。

まるまちHMの高度化とは、これまでのまるまちHMに比べてさらに分かりやすく、実際の浸水深が一目でわかるように工夫することで、設置後も浸水リスクをより多くの住民に理解してもらうとともに、二次元バーコードにより自治体の防災情報サイトに接続が可能とすることにより、まるまちHMを「高度化」した試行取組です。

まるごとまちごとハザードマップの取組

標準的なまるごとまちごとハザードマップ



高度化したまるごとまちごとハザードマップ



二次元バーコードによる防災情報の取得

スマホでアクセス！

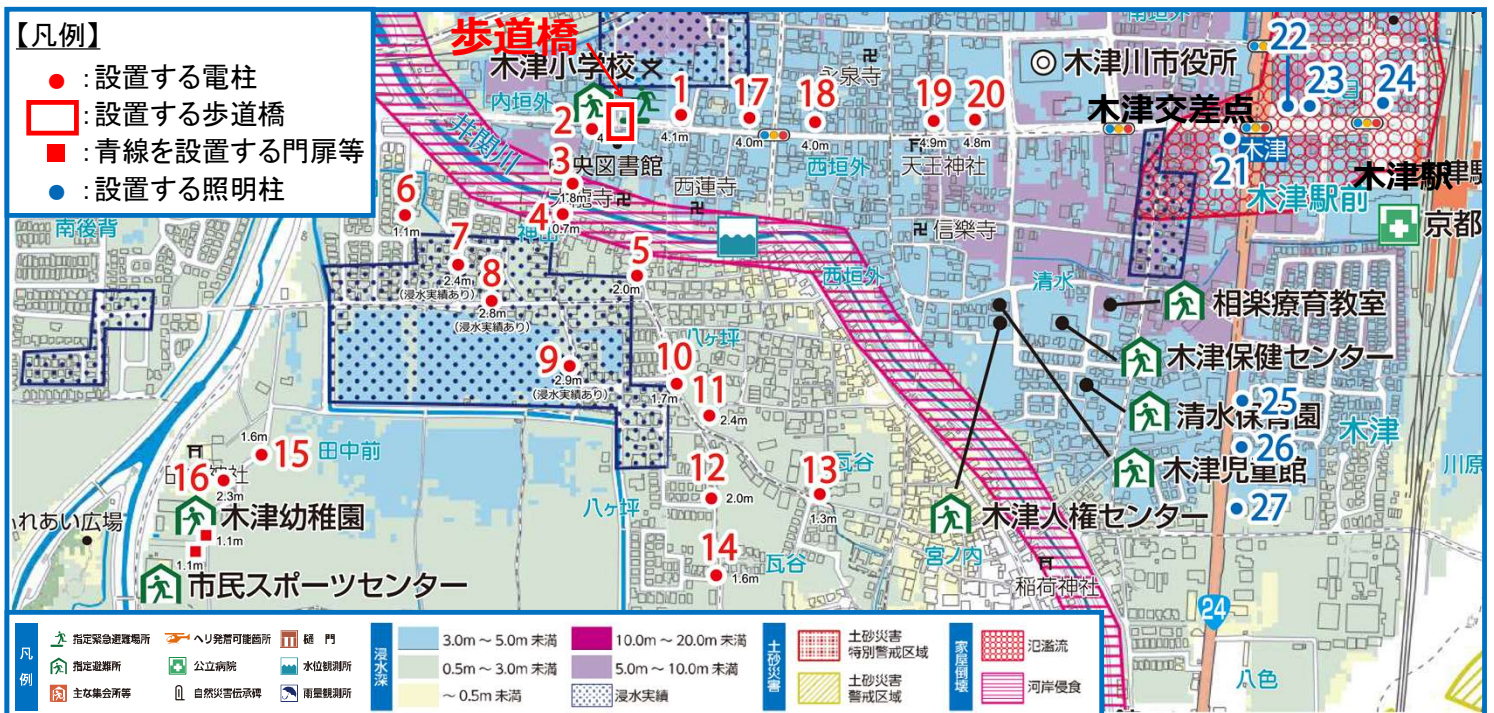


まるごとまちごとハザードマップの高度化の考え方 (1/2)

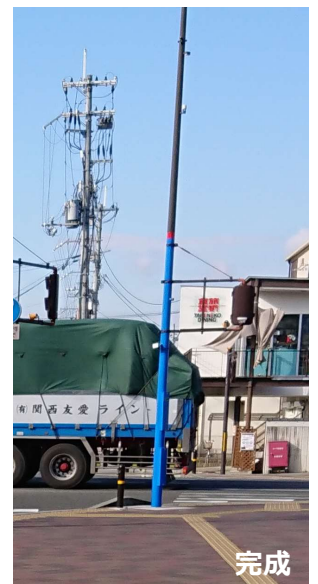
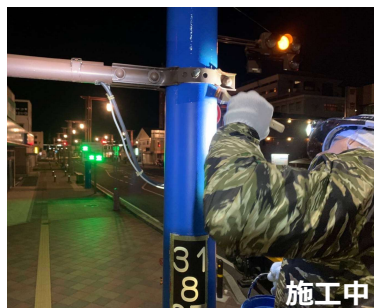
まるごとまちごとハザードマップの高度化の考え方 (1/2)

- 設置箇所においては、自治会総会の際の説明から始まり、関係機関と各自治会によるまち歩きや検討会を実施した上で、自治会にて設置箇所の詳細を決定し、工事の際には周知のためのチラシを配布するなど、地元協力のもと、事業を実施しました。
- 設置箇所は、子供達が把握できる場所、多くの市民が目につく場所という観点から、小学生の通学路と人通りの多い国道沿いを主として展開しました。

設置位置図 (木津川市ハザードマップとの関係)



照明柱 (人通りや交通量の多い箇所に設置)

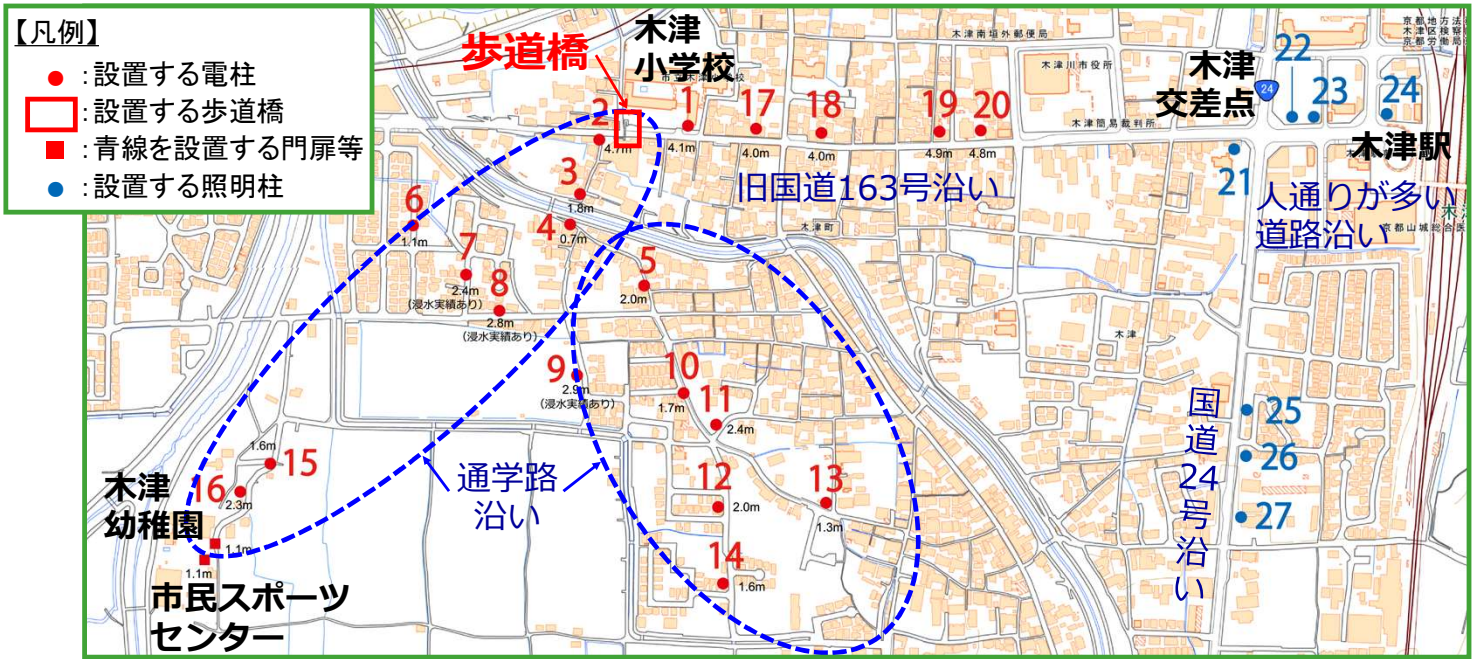


まるごとまちごとハザードマップの高度化の考え方 (2/2)

まるごとまちごとハザードマップの高度化の考え方 (2/2)

- 電柱には、想定浸水位だけでなく、近年の実績浸水深と二次元バーコードを記載し、照明柱及び歩道橋には想定浸水深を表示し、それぞれが並んで見えて繋がるように配置しました。
- 今後、高度化したまるまちHMを用い、二次元バーコードを活用した避難訓練と防災マップ作成を予定しています。

設置位置図 (通学路、人通りや交通量が多い道路との関係)



電柱 (連続的に見えるように設置)



歩道橋、小学校正門前 (通学路に設置)



まるごとまちごとハザードマップの高度化の実施例

通学路沿いの設置例



連続して見える例



浸水実績表示のある例



歩道橋の設置例



人通り・交通量の多い道路沿いの電柱や照明柱への設置例



木津交差点付近の設置例



駅前通りの設置例



バス停横の設置例